

## 江戸時代中期から 270年以上続く管粥 神事が行われました

2月26日、松河原の逢坂八幡神社で今年の農水産物の出来を占う管粥神事が行われました。これは、本殿横にしめ縄を張り巡らせ、その中心で鍋の水を沸騰させ、そこに24本の竹筒と米を入れ煮詰めます。その後、あらかじめ農作物の名が刻してある竹筒を割り、筒の中に詰まった粥の量でその年の農作物の出来を判定するものです。

今年も、全般を占う「大年」、特産品であるブロッコリーと白ネギが10分、梨が7分となりました。高見英毅総代表は、「過去にないくらい良い結果になり、今年は希望が持てる」と話されました。



▲竹筒を割り判定する太田禰宜（左）と結果を記入する高見総代表（右）

## 「安心観光キャンペーン」 抽選会を実施しました

昨年9月、大山寺エリア「安心観光・飲食エリア」宣言後、10月10日から3月14日までの間、「安心観光キャンペーン」を実施しました。

これは、安心して観光や飲食を満喫していただける大山寺周辺の「安心観光・飲食エリア」登録店舗で、一定額以上の宿泊や買い物をしていただいた方に応募券を配布し、応募すると抽選で大山町特産品が当たるキャンペーンです。

抽選は、大山町長・大山観光局足立代表理事・大山旅館組合山根組合長の3名により、1月と3月の2回に分けて行われ、応募総数約2万3千件の中から選ばれた30名の方に大山町の特産品を贈りました。

これからの季節、新緑まぶしい大山へ是非お出かけください。



▲たくさんの応募の中から厳正なる抽選を行いました

## JR下市駅 南側進入路が 完成しました

昨年からの整備を進めていましたJR下市駅南側の整備が終わり、ホームへの出入りが可能となりました。車の乗り入れはできませんが、自転車での利用はできます。利用される時は入り口の水路に気をつけてください。

財務課  
☎0859・54・5200



▶利用しやすくなった下市駅

## 「地方創生事業に活用を」 寄付ありがとうございました

町の進める地方創生事業に活用してほしいと、米子市に本社のある電力小売・卸売事業者のローカルエナジー株式会社様から「企業版ふるさと納税」の寄付をいただきました。

3月17日に贈呈式が行われ、ローカルエナジー株式会社の加藤代表取締役は「持続可能な社会構築に向けた取り組みや、情報インフラ、テクノロジーの活用は、わが社の理念にも合致しており、支援できれば」と話しました。

寄付金は、第2期総合戦略「ひと・くらし・しごと創生実施事業」の全体を推進するための事業に活用し、町の情報発信についての基礎調査・職員向けのSDGs研修・オンライン会議勉強会を実施しました。



▲ローカルエナジー株式会社の加藤代表取締役（左）